

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公開番号】特開 2004-335622 (P2004-335622A)

【公開日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【年通号数】公開・登録公報 2004-046

【出願番号】特願 2003-127592 (P2003-127592)

【国際特許分類】

H 0 1 F 1/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/08 (2006.01)

C 0 8 K 3/20 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 1/00 Z

C 0 8 K 3/08

C 0 8 K 3/20

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 1 日 (2006.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁性体の少なくとも一部が、ポリヒドロキシアルカノエートで被覆されていることを特徴とする、構造体。

【請求項 2】

前記ポリヒドロキシアルカノエートが、3 - ヒドロキシプロピオン酸ユニット、3 - ヒドロキシ - n - 酪酸ユニット及び 3 - ヒドロキシ - n - 吉草酸ユニットより選択される少なくとも一つのモノマーユニットを有する請求項 1 に記載の構造体。

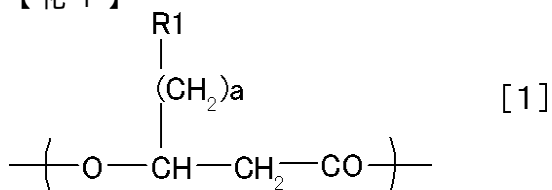
【請求項 3】

前記ポリヒドロキシアルカノエートが、3 - ヒドロキシアルカン酸ユニット（ただし 3 - ヒドロキシプロピオン酸ユニット、3 - ヒドロキシ - n - 酪酸ユニットまたは 3 - ヒドロキシ - n - 吉草酸ユニットを除く）を含有する請求項 1 に記載の構造体。

【請求項 4】

前記ポリヒドロキシアルカノエートが、化学式 [1] から化学式 [10] に示すモノマーユニットからなる群より選択される少なくとも一つを含有するポリヒドロキシアルカノエートである、請求項 3 に記載の構造体。

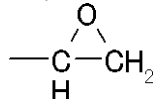
【化 1】



（ただし、該モノマーユニットは、式中 R 1 および a の組合せが下記のいずれかであるモノマーユニットからなる群より選択される少なくとも一つである。R 1 が水素原子（H）

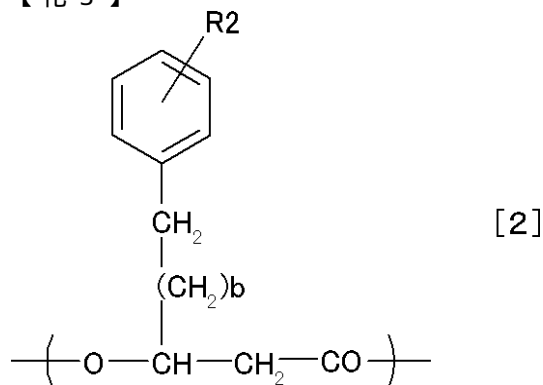
であり a が 3 から 10 の整数のいずれかであるモノマーユニット、R₁ がハロゲン原子であり a が 1 から 10 の整数のいずれかであるモノマーユニット、R₁ が発色団であり a が 1 から 10 の整数のいずれかであるモノマーユニット、R₁ がカルボキシル基あるいはその塩であり a が 1 から 10 の整数のいずれかであるモノマーユニット、R₁ が、

【化 2】



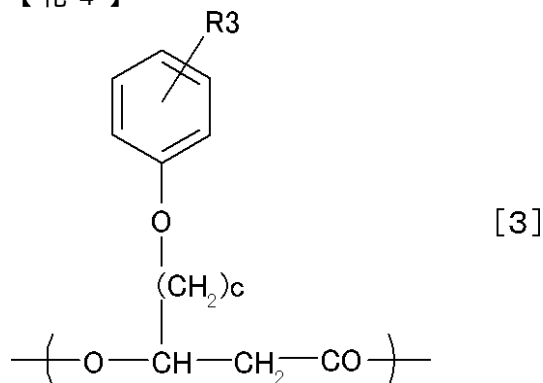
であり a が 1 から 7 の整数のいずれかであるモノマーユニット。)

【化 3】



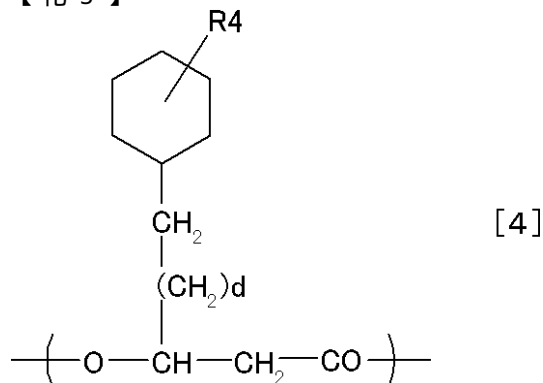
(ただし、式中 b は 0 から 7 の整数のいずれかを表し、R₂ は水素原子 (H)，ハロゲン原子，-CN，-NO₂，-CF₃，-C₂F₅，-C₃F₇ からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表す。)

【化 4】



(ただし、式中 c は 1 から 8 の整数のいずれかを表し、R₃ は水素原子 (H)，ハロゲン原子，-CN，-NO₂，-CF₃，-C₂F₅，-C₃F₇ からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表す。)

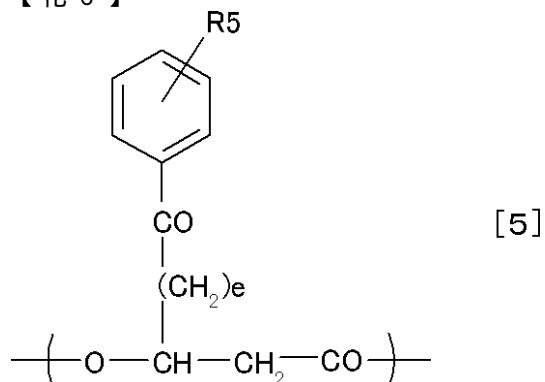
【化 5】



(ただし、式中 d は 0 から 7 の整数のいずれかを表し、R₄ は水素原子 (H)，ハロゲン原子，-CN，-NO₂，-CF₃，-C₂F₅，-C₃F₇ からなる群から選ばれたいずれか

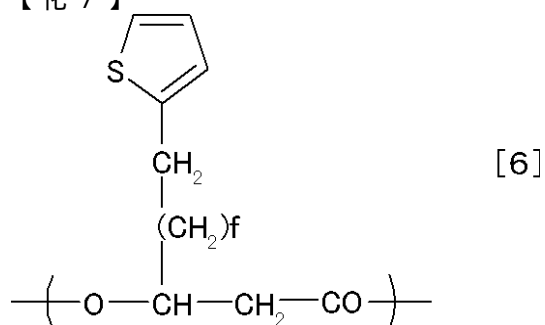
1つを表す。)

【化6】



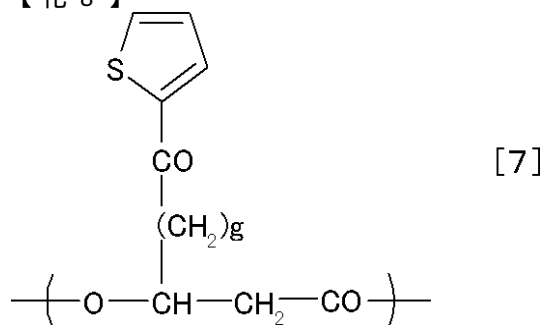
(ただし、式中 e は 1 から 8 の整数のいずれかを表し、R 5 は水素原子 (H) , ハロゲン原子 , - C N , - N O₂ , - C F₃ , - C₂ F₅ , - C₃ F₇ , - C H₃ , - C₂ H₅ , - C₃ H₇ からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表す。)

【化7】



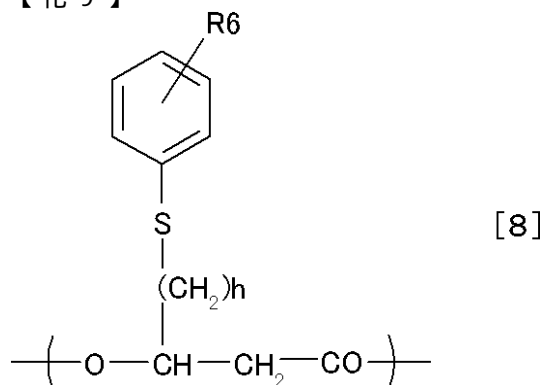
(ただし、式中 f は 0 から 7 の整数のいずれかを表す。)

【化8】



(ただし、式中 g は 1 から 8 の整数のいずれかを表す。)

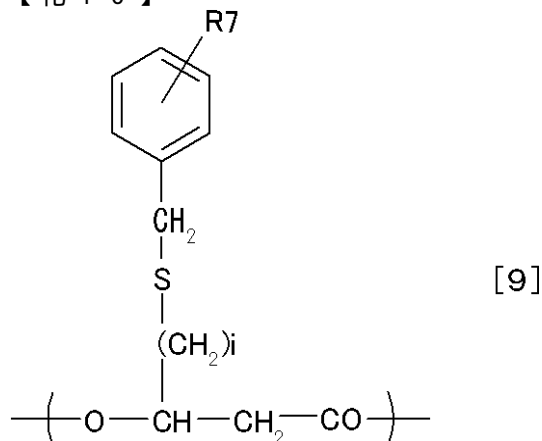
【化9】



(ただし、式中 h は 1 から 7 の整数のいずれかを表し、R 6 は水素原子 (H) , ハロゲン原子 , - C N , - N O₂ , - C O O R , - S O₂ R , - C H₃ , - C₂ H₅ , - C₃ H₇ ,

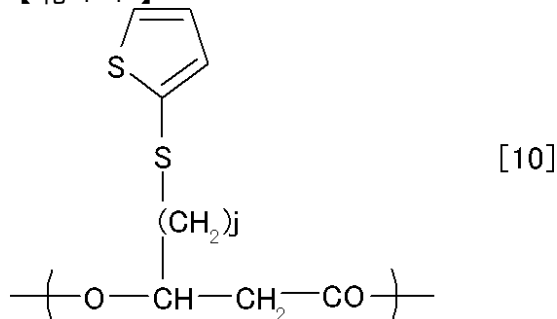
- $\text{CH}(\text{CH}_3)_2$, - $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表し、ここで R は水素原子 (H), Na, K, - CH_3 , - C_2H_5 のいずれかであり、R は - OH, - ONa, - OK, ハロゲン原子, - OCH_3 , - OC_2H_5 のいずれかである。)

【化 10】



(ただし、式中 i は 1 から 7 の整数のいずれかを表し、R 7 は水素原子 (H), ハロゲン原子, - CN, - NO_2 , - COOR , - SO_2R からなる群から選ばれたいずれか 1 つを表し、ここで R は水素原子 (H), Na, K, - CH_3 , - C_2H_5 のいずれかであり、R は - OH, - ONa, - OK, ハロゲン原子, - OCH_3 , - OC_2H_5 のいずれかである。)

【化 11】



(ただし、式中 j は 1 から 9 の整数のいずれかを表す。)

【請求項 5】 前記ポリヒドロキシアルカノエートの少なくとも一部が、化学修飾されたポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 3 または請求項 4 に記載の構造体。

【請求項 6】

前記の化学修飾されたポリヒドロキシアルカノエートが、少なくともグラフト鎖を有するポリヒドロキシアルカノエートであることを特徴とする、請求項 5 に記載の構造体。

【請求項 7】

前記グラフト鎖が、エポキシ基を有するモノマーユニットを少なくとも含むポリヒドロキシアルカノエートの化学修飾によるグラフト鎖であることを特徴とする、請求項 6 に記載の構造体。

【請求項 8】

前記グラフト鎖が、アミノ基を有する化合物のグラフト鎖であることを特徴とする、請求項 6 または請求項 7 に記載の構造体。

【請求項 9】

前記のアミノ基を有する化合物が、末端アミノ変性化合物であることを特徴とする、請求項 8 に記載の構造体。

【請求項 10】

前記末端アミノ変性化合物が、ポリビニルアミン、ポリエチレンジアミン、末端アミノ変

性ポリシロキサンからなる群より選択される少なくとも一つであることを特徴とする、請求項 9 に記載の構造体。

【請求項 11】

前記ポリヒドロキシアルカノエートの少なくとも一部が、架橋化されたポリヒドロキシアルカノートであることを特徴とする、請求項 5 に記載の構造体。